

安全未来特定認定再生医療等委員会

# 議事録要旨

第 111 回 1 部

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口 1-19-11 グラントール溝の口 502 号

一般社団法人 再生医療安全未来委員会

理事長 白井 由美子

# 安全未来特定認定再生医療等委員会議事録要旨

## 第 111 回 第 1 部

2020 年 8 月 19 日

安全未来特定認定再生医療等委員会は、提出された再生医療計画について、その調査・審議・判定を行ったので、その議事録要旨を作成する。

### 【議題】

東松山市立市民病院

「多血小板血漿 (Platelet-rich plasma:PRR) を用いた変形性関節症治療」審査

## 第1 審議対象及び審議出席者

### 1 日時場所

日 時：2020 年 8 月 18 日（火曜日）第 1 部 18：20～18：48

開催場所：東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル

### 2 出席者

出席者：佐藤委員（再生医療）、寺尾委員（再生医療）、平田委員（臨床医）、  
小笠原委員（細胞培養加工）、井上委員（法律）、奥田委員（一般）

申請者：管理者 杉山 聡

申請施設からの参加者：整形外科部長 清水 学

陪席者：（事務局）坂口 雄治、木下 祐子

### 3 技術専門員 寺尾 友宏 先生

### 4 配付資料

資料受領日時 2020 年 7 月 28 日

- ・ 再生医療等提供計画書（様式第 1）  
「審査項目：多血小板血漿 (Platelet-rich plasma:PRR) を用いた変形性関節症治療」
- ・ 再生医療等提供基準チェックリスト

（事前配布資料）

- ・ 再生医療等提供計画書（様式第 1）
- ・ 再生医療等の内容を出来る限り平易な表現を用いて記載したもの
- ・ 提供施設内承認書類

- ・ 提供する再生医療等の詳細を記した書類
- ・ 略歴及び実績
- ・ 説明文書・同意文書
- ・ 特定細胞加工物概要書
- ・ 特定細胞加工物標準書
- ・ 品質リスクマネジメントに関する書類
- ・ 個人情報取扱実施管理規定
- ・ 国内外の実施状況
- ・ 研究を記載した書類
- ・ 費用に関する書類
- ・ 特定細胞施設基準書
- ・ 特定細胞施設手順書
- ・ 細胞培養加工施設の構造設備チェックリスト
- ・ 特定細胞加工物製造届書

(会議資料)

- ・ 再生医療等提供基準チェックリスト
- ・ 再生医療等提供計画書（様式第1）
- ・ 技術専門員による評価書

## 第2 審議進行の確認

### 1 開催基準の充足

再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号）改正後第六十三条の規定する開催要件は次のとおり。

成立要件：

- 1 5名以上の委員が出席していること。
- 2 男性及び女性の委員がそれぞれ2名以上出席していること。
- 3 次に掲げる者がそれぞれ1名以上出席していること。
  - イ. 再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
  - ロ. 細胞培養加工に関する識見を有する者
  - ハ. 医療又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家、または生命倫理に関する識見を有する者
- ニ. 一般の立場の者
- 4 出席者の中に、審査等業務の対象となる再生医療等提供計画を提出した医療機関（当該医療機関と密接な関係を有する者を含む。）と利害関係を有しない委員が過半数含まれていること。
- 5 認定再生医療等委員会の設置者と利害関係を有しない委員が2名以上含まれていること。

事務局の坂口雄治が今回の審査の前に、開催基準に関して要件を読み上げ、全てにおいて条件を満たしていることを各委員に宣言した。

今回審査を行う申請者と技術専門員を紹介した。続いて、申請者に各委員の紹介をした。

- 2 井上委員から再生医療等提供基準チェックリストを項目別に読み上げるよう事務局に依頼し、個別の質問には各施設代表者様が答える形式で進めるように説明があった。
- 3 井上委員が進行をすることとした。
- 4 技術専門員からの評価書を委員全員で確認した。

### 第3 厚労省の再生医療提供基準チェックリストにもとづく審議及びそれ以外の質疑応答

寺尾	今までにPRPを使ったことがありますか
清水	いいえ、今まで再生医療に携わったことはありません。学会等でPRPの効果について知る機会はありましたが、公立の病院なので、費用面を懸念していました。それでも、PRPを用いた治療の結果やデータを見て、市民に提供するに足ると判断して今回申請しました
寺尾	PRPの治療を実施している医療機関もデータも増えてきており、何でも効くというわけではありませんが、効果がある方もたくさん出てきています。ただ、単純に薬を投与するのとは違って、患者はPRP注入後の独特な痛みに驚くことがありますので、十分に説明を行ってください
清水	はい、わかりました
寺尾	治療は、股関節をメインで行いますか
清水	膝も股関節も両方やりますが、股関節のデータは、まだあまりないので、膝をメインで考えています。やみくもに投与するのではなく、本当に必要で有効な治療かどうかを見極めながらやっていきたいと思えます
平田	効果判定は、1か月後、3か月後、6か月後に患者が来院して評価し、必要なら画像検査を行うとあります。客観的に評価をするなら、画像診断が適切だと思えますが、MRIは費用がかかりますし、そのあたりはどのように整合性をとりますか
清水	レントゲンでは限りがあります。金額的なこともありますので、目で見ても効果を実感したいのかどうかということを患者さんと相談したいと思えます。基本的には、JOAのスケールを使って判断しながらやっていきます。本来なら、1か月後、3か月後、6か月後、1年後とMRIをやりたいところですが、患者さんと相談して確認しながらやっていきます
奥田	GPSとAPSの二つのキットの使い分け、特長については記載がありますが、GPSのminiとstandardの使い分けについてはどのようにしますか
清水	打つ関節に合わせて使い分けをし、患者さんにも説明をします
佐藤	クリーンブースとは、具体的にどういう場所ですか

清水	整形外科の診察室のいちばん奥の部屋で、人の出入りを制限できる所です。PRPを調整する専用の部屋にしようと思っています
佐藤	部屋を確保するという事だけならば、クリーンということではないので、誤解を招く表現だと思います
清水	はい、わかりました

これら具体的な質疑の他、再生医療等提供基準チェックリストに従った審査もすべて行った。その後、申請者を退席させて合議を行った。合議では、井上委員が審議中に委員が意見・指摘した事項をまとめ、井上委員はあらためてそれらを他の委員に確認した。合議後、井上委員より、その結果を施設に伝えた。

以上の審議の間、委員の構成に変更はなかった。

## 第4 判定

### 1.各委員の意見

- (1)承認 6名
- (2)否認 0名

### 2. 委員会の判定

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等に用いられる再生医療等技術の安全性の確保および生命倫理への配慮がなされ、再生医療提供者が講ずべき措置を行うものと判断する。同時に再生医療等の安全性の確保等に関する法律および施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。

以上に鑑み、今回審査した計画について「承認」と判定する。

以上